

かけはし



働くということの意味は……

いよいよ12月。師走を迎えました。日に日に寒さも増し、本格的な冬、雪の季節の到来を感じさせます。この時期は、慌ただしさが増しますが、新年を迎える期待がふくらむ時でもあります。そこで、この年末年始の時期に、「お手伝い」について親子で対話をしてみてはいかがでしょうか。

私が子どもの頃は、冬休みの宿題に「家のお手伝い」というものがありました。私はいつも、縁側掃除と障子の張り替えの手伝いをしていました。遊びたい時でも、お手伝いが終わるまでは遊びに行けず、親に対して不平不満を言ったこともあります。そんな時、親から聞いた言葉を今でも覚えています。「いつもありがとう。あんたたちが手伝ってくれるから体が楽だよ」と。そんな声に、家族のために自分がなにやら役に立っているんだと実感することができました。

もう一つ、感銘を受け、忘れられない言葉があります。「働くって、動くという字に似ているけど、人のために動くって読んでもいいんじゃないの。だから、あなたのお手伝いには、いつも感謝してるんだよ」。当時の私には、働くことの意味や大切さを深く理解することはできませんでした。しかし、その時の経験が、今はとても役に立っていると思っています。

本来、子どもも誰かのために役に立ちたいという思いを常に抱いているのです。だからこそ、家族の一員である子どもたちに、これまで以上に、お手伝いを通して家庭生活への積極的な参画者になってほしい願いと期待を、そして家族のために働いてくれたことへの感謝の思いを伝えてはどうでしょうか。きっと子どもたちは、人のために働くことの実感できるでしょう。あわせて、子どもたちの自己有用感が高まってくることでしょう。子どもたちをもっと頼りにしてよいのではないのでしょうか。子どもたちは、家族のためにきっと期待に応えてくれるはずです。

冬休みにむけて



12月5日から12月9日までは、個別懇談です。お子様の様子を担任とお話しいただき、がんばったこと・できるようになったことを中心に2学期の生活を振り返っていただきたいと思います。そして、そのことをしっかり褒めてあげてください。

懇談が終わると、いよいよ冬休みがやってきます。今年の冬休みは、様々な面で注意が必要な休みとなります。

子どもたちが健康で安全に安心して生活するためには、ご家庭の力・地域の力が必要不可欠となります。学年部会でお渡しした「冬休みの過ごし方」をもう一度お読みいただき、ご家庭でのご指導もよろしく願いいたします。

(文責 山口 正文)